

私の住んでいるやさしい町

金田小学校五年 小島 叶

「あんなたち、野菜持っていかんね。」

私の住んでいる佐須という所は、とてもやさしい場所です。

「こんにちほ。」

近所に住むおばあちゃんに毎日、元気よくあいさつをします。おばあちゃんは、私たちの学校帰りに自分が育てた野菜を

これ、持っていかんね。」

と私たちにくれます。おばあちゃんは、私たちにこう言いました。

「おばあちゃんにも孫がおるけど向こうに住んでるけんあんなたちが孫のようにかわいく見えるよ。」

私は、そんなふうにもう思ってもらえて、とてもうれしいです。

また、私には、家族のようなおばあちゃんが近くにいます。私が、小学一年生の時から毎朝いっしょに学校に行ってくれて、私たちの

安全を見守ってくれました。家のかぎをわす
れた時には、そのおぼちゃんの家に行くと
らどうしたと？おがえり。

と笑顔で向かえてくれて、お母さんに連らん
してくれます。

私は、こうやって色々な人のやさしきで大
きくなりました。五年生になって私にもでき
ることがかえしました。ゴミすてのお手伝いを
していると近所のおぼあちゃんが
「ぼあちゃん足が臭いけいんぼあちゃんのゴミ

も持っていって。

私は、おぼあちゃんのゴミも持っていきまし
た。たくさんの人にやさしく育ててもらったの
で、私はこれからおんがえしをしていきたい
です。

私は、そうやって私の住んでいるやさしい
町を大切にしたいと思います。

私が大切に育ててくれたみんなに感謝を
こめて。